

鑑賞作品名： パブロ・ピカソ「ゲルニカ」

個
別
的
理
解

④ 鑑賞作品に関する技法・主題等の事実（文献等による）

キュビズム，無彩色，壁画，ゲルニカ爆撃（1937）

⑥ 鑑賞作品を「造形的な視点で捉える」ための発問

「ピカソはゲルニカへの爆撃を主題としてこの作品を描きましたが、なぜこのような描き方をしたと考えますか？」

⑤ 発問に対する生徒による思考（気づき）のシミュレーション

「写実的に描かないことで、怒りや悲しみを表したかったのかな」

「あざやかな色を使わないことで、負のイメージを描こうとしたのかな」

「爆撃の場면을再現するのではなく、反戦の気持ちを表そうとしたのではないか」

鑑
賞
的
体
験

- ・パブロ・ピカソ「ゲルニカ」、巖光「眼のある風景」、エドヴァルド・ムンク「叫び」を比較して鑑賞する。
- ・作品の共通点について話し合い、それらの主題がどのように表現されているのかを考える。（「形や色彩などが感情にもたらす効果」への着目）

俯
瞰
的
理
解

③ 美術に関して「自分としての意味や価値をつくりだす」ための発問

「美術が『美しさ』のほかに求めているものがあるとしたら、それは何だと考えますか？」

② 発問に対する生徒による思考（気づき）のシミュレーション

「戦争や暴力の惨さを訴え、平和を求めているのではないか」

「社会問題や世界の現状、人間の苦悩などを伝えようとしている」

「表現を通して人間がどのようにあるべきなのかを探したり訴えたりしている」

① 深く学ばせたい美術の特性・意義等

美術は、美しさだけでなく人間の生き方や真理を追究するものでもある